

**令和5年度に係る
公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果**

令和6年8月

公立大学法人福知山公立大学評価委員会

目次

I 令和5事業年度の業務実績評価について..... 1

II 評価結果

1 全体評価..... 3

2 大項目別評価..... 5

《公立大学法人福知山公立大学評価委員会委員》

区分	職名等	氏名
委員長	京都府立大学名誉教授	青山 公三 <small>あおやま こうぞう</small>
委員長職務代理	大阪公立大学 本部事務機 構 次長	大久保 正明 <small>おおくぼ まさあき</small>
委員	社会保険労務士・行政書士 菊田学美事務所 所長	菊田 学美 <small>きくた まなみ</small>
委員	税理士法人藤原事務所 代表社員	藤原 健 <small>ふじわら たけし</small>
委員	学校法人淑徳学林 理事長	山口 剛 <small>やまぐち つよし</small>

I 令和5年度に係る業務実績評価について

公立大学法人福知山公立大学評価委員会は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第78条の2第3項の規定に基づき、公立大学法人福知山公立大学（以下「法人」という。）の令和5年度に係る業務の実績について、「公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価方針」、「公立大学法人福知山公立大学に関する年度評価実施要領」及び「公立大学法人福知山公立大学に関する中期目標評価実施要領」により評価を行った。

1 評価に関する基本的な考え方

- （1）評価は、法人の教育研究の特性や運営の自主性、自立性に配慮して行うものとする。
- （2）評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、法人の組織・業務運営等に関して総合的に行い、改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資するものとする。
- （3）評価は、法人が自主的に行う組織・業務全般の見直しや次期の中期目標・中期計画の検討に資するものとする。
- （4）評価を通じて、法人の中期目標・中期計画の達成に向けた取り組み状況やその成果をわかりやすく示し、市民への説明責任を果たすものとする。
- （5）評価方法については、必要に応じて工夫・改善を行うものとする。

2 評価方法

- （1）評価は、法人による自己評価を聴取した上で行った。
- （2）評価は、「項目別評価」及び「全体評価」により行った。
- （3）「項目別評価」は、「小項目別評価」及び「大項目別評価」により行った。

小項目別評価

年度計画の記載項目（小項目）ごとの進捗状況又は実施状況を確認し、評価を行った。

評価	進捗状況（実施状況）
4	年度計画を上回って実施している（上回る実施状況）
3	年度計画を順調に実施している（十分な若しくは概ね実施）
2	年度計画を十分に実施できていない（下回る若しくは実施が不十分）
1	年度計画を大幅に下回っている（特に劣る若しくは実施していない）

大項目別評価

年度計画の小項目別評価及び特筆すべき事項（以下「特筆事項」という。）を踏まえ、中期計画の事項（以下「大項目」という。）ごとに、当該事業年度における中期計画の進捗状況について、次の4段階により進捗状況を示すとともに、記述式により自己評価した。

(1) 教育に関する目標を達成するための措置
(2) 研究に関する目標を達成するための措置
(3) 地域・社会貢献に関する目標を達成するための措置
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
(6) 自己点検・評価及び該当状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

評価	評価基準	判断の目安
S	中期計画の達成に向け計画を上回って進捗している。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5以上であり、かつ、評価委員会が「S」と認める場合。 小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.5に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「S」相当と認める場合。
A	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.0以上3.5未満であり、かつ、評価委員会が「A」相当と認める場合。 小項目別評価の各項目の評定の平均値が3.0に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「A」相当と認める場合。
B	中期計画の達成のためには進捗が遅れている。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9以上3.0未満であり、かつ、評価委員会が「B」相当と認める場合。 小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9に満たないが、主たる業務の進捗状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「B」相当と認める場合。
C	中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。	<ul style="list-style-type: none"> 小項目別評価の各項目の評定の平均値が1.9未満であり、中期計画の達成のためには重大な改善事項があると、評価委員会が認める場合。

全体評価

「項目別評価」の結果を踏まえ、法人の中期計画の達成に向けた業務の進捗状況を総合的に勘案して評価を行った。

評価	評価基準
S	中期計画の達成に向け計画を上回って進捗している。
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。
B	中期計画の達成のためには進捗が遅れている。
C	中期系威嚇の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

II 評価結果

1 全体評価

法人は、教育のまち福知山における「知の拠点」として、地方独立行政法人法（平成15年法律第119号）に基づき、福知山公立大学を設置し、及び管理することにより、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人材を育成し、北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地方創生に寄与することを目的としている。

(1) 令和5年度評価結果

令和5年度評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

(2) 総評

第2期中期計画の2年目の事業年度となる令和5年度実績の特筆すべき事項として

- ①情報学と地域経営学の文理連携による大学院地域情報学研究科について、特段の問題なく予定通り設置を実現したこと
- ②低年次からのキャリア支援活動を実施するなど手厚いサポートを継続して実施し、初めての卒業生を輩出する情報学部を含めて高い内定率を得たこと
- ③「福知山モデル」の具現化に向け「情報学を基盤とする地域協働型教育」及び「汎用的学修能力育成」を新たな教育目標とする学士課程改編の方針を決定したこと
- ④地域住民を対象に実施したリカレント教育や公開講座等において参加者から高い満足度が得られ、地域の人材教育に貢献したことなどが挙げられる。

以上のような状況や、大項目評価は、全7項目が「A」（中期計画の達成に向け順調に進捗している。）であったことから、総合的に勘案し、全体評価は「A」（中期計画の達成に向け順調に進捗している。）と評価する。

令和5年度に学士過程教育改編の方針を策定し地域経営学部と情報学部を跨いだ共通教育を行うことや、令和6年度の大学院地域情報学研究科の設置により、「地域のための情報学」がより明確に示された。第2期中期目標に掲げた「福知山モデル」実現のため、この新たな教育目標を具現化させ、より高度な地域連携の取組を進め大学の発展に取り組みたい。

なお年度計画については、可能な限り具体的な計画内容や定量的な計画目標を掲示し、目標に対する成果が明確となるよう努められたい。

【令和5年度 大項目別評価結果】

大項目	評定	S	A	B	C
		計画を上回って 進捗している	順調に進捗して いる	進捗が遅れてい る	進捗が著しく遅れ ており、重大な改 善事項がある
教育に関する目標を達成するための措置			○		
研究に関する目標を達成するための措置			○		
地域・社会貢献に関する目標を達成するための措置			○		
業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置			○		
財務内容の改善に関する目標を達成するための措置			○		
自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置			○		
その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置			○		

2 大項目別評価

第4-1 教育に関する目標を達成するための措置

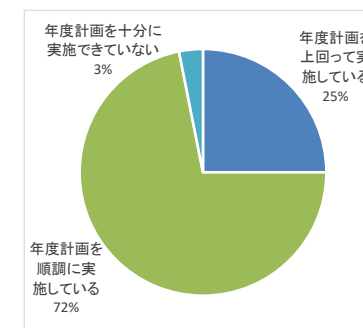
評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.2

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.2となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	32	8	23	1	0
	構成比(%)	(25.0%)	(71.9%)	(3.1%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 情報学と地域経営学が連携した大学院研究科について、特段の問題なく予定通り設置を実現したこと
- 低年次からキャリア支援活動を継続して実施した結果、初めての卒業生を輩出する情報学部を含めて高い内定率を得たこと
- 「福知山モデル」の具現化に向け「情報学を基盤とする地域協働型教育」及び「汎用的学修能力」を新たな教育方針とされたこと
- GPAの経年変化と入試区分との相関及びPROGテストとの相関を分析し新カリキュラム作成に役立たせるなど、学部の特性を活かし分析力を有効に活用されていること
- 課題であった国際化支援について、交流活動や短期語学留学を単位認定科目にするなど、活発に取り組まれたこと

(課題となる点等)

- 大学院研究科設置初年度から定員を確保できなかったことについては問題であり、早急に分析を行い改善策を検討されたい
- 北近畿地域からの入学者を定員の20%にする中期目標に対して、実現に向けて年度計画を含め再検討されたい

第4-2 研究に関する目標を達成するための措置

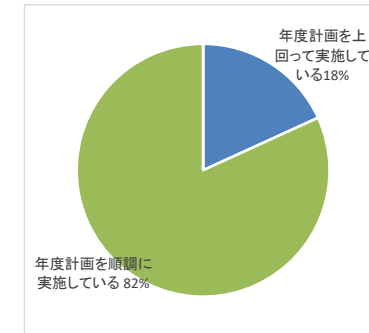
評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.2

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.2となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	11	2	9	0	0
	構成比(%)	(18.2%)	(81.8%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 「北近畿コラボスペース」の活用や、近隣高等教育機関、自治体との連携により活発な取組が進められたこと
- 地域防災研究センターにおいて、雨量計等のWebアプリケーションの完成や出動指令先の判断を支援するアプリを開発するなど、研究が実装に結実していること
- 科研費、受託研究、共同研究等、外部資金の獲得に努力されていること

(課題となる点等)

- 文理連携型地域研究の促進に対して成果が出せるよう取組を進められたい

第4-3 地域・社会貢献に関する目標を達成するための措置

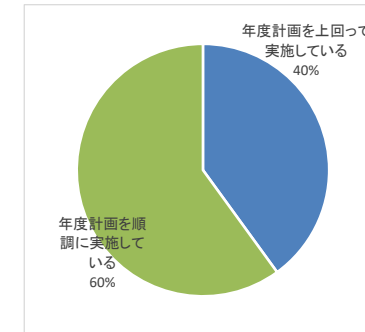
評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.4

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.4となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	10	4	6	0	0
	構成比(%)	(40.0%)	(60.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 地域住民等を対象に実施した、リカレント教育、公開講座等において参加者から高い満足度が得られたこと
- 情報学部の教員と学生が協働し、市域の小中学生を対象にプログラミング教室を開催するなど、地域社会に貢献されたこと
- 大学プレゼンス向上のため、積極的な広報活動を行い、昨年度を大きく上回る実績を挙げられたこと

- 福知山市からの受託事業「NEXT産業創造プログラム」について、起業家・スタートアップ企業育成のための高度なプログラムが用意され実施されている所である。スタートアップ企業の育成は、今後の福知山市にとって産業の柱となるべく市が取組んでいると認識している。福知山市の産業発展のため、市が目指すスタートアップ企業に注力した事業の実施内容・成果について市と綿密な調整を図り、福知山市の産業発展に大きく寄与する事業となることを期待する

(課題となる点等)

- 小中高大連携の取組を多くされていることを通して、将来福知山公立大学への入学を希望することに繋がる工夫をされたい

第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

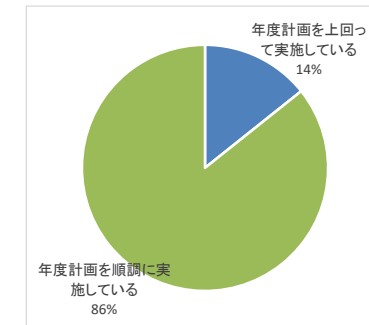
評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.1

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.1となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	7	1	6	0	0
	構成比(%)	(14.3%)	(85.7%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 組織改編に向け、職階制度を細分化するとともに職務と職責を明確にされたことにより、職員のモチベーションと資質向上につながること

(課題となる点等)

- 教員評価制度の試行実施結果を踏まえ、評価結果の処遇への反映を視野に入れた積極的な検討を進められたい

第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	6	0	6	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 学生数の確保、外部資金の獲得等を通し、財務が健全に運営されていること

(課題となる点等)

- 特記事項なし

第7 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置

評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け計画を上回って進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	2	0	2	0	0
	構成比(%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 特記事項なし

(課題となる点等)

- 特記事項なし

第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

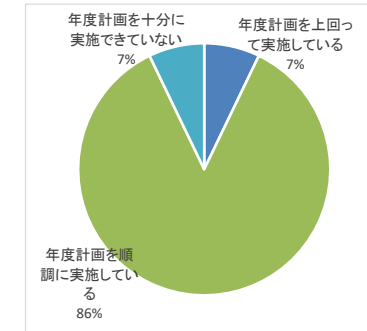
評価	評価基準
A	中期計画の達成に向け順調に進捗している。

評定平均
3.0

(1) 評価理由

小項目別評価において、下記の表の評価結果となり、評定平均値が3.0となっているため、大項目別評価としては、「A」評価であり、中期計画の達成に向け順調に進捗していると認められる。

	項目数	4	3	2	1
		年度計画を上回って実施している	年度計画を順調に実施している	年度計画を十分に実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
小項目別評価結果	14	1	12	1	0
	構成比(%)	(7.1%)	(85.7%)	(7.1%)	(0.0%)



(2) 概況

(評価できる点等)

- 中長期の設備更新拡充にかかるマスタープラン策定に着手され、今後の課題と対策を長期的に見据えられていること

(課題となる点等)

- 特記事項なし